

2026ユカレッジ(地域出前授業)タイトル一覧

(各講座の詳細は、次頁以降の資料をご覧ください。)

A/教育・子育て B/スポーツ C/人権・福祉 D/芸術・音楽 E/文化・歴史 F/情報技術・科学
G/健康・ライフスタイル H/環境・防災 I/政治・経済・ビジネス J/その他

No.	分野	タイトル	担当教員	No.	分野	タイトル	担当教員
1	A	遊びが学びへとつながる保育の質 (ワクワク・ドキドキ遊び体験)	中井 清津子 教授	27	B	なぜスポーツ・運動が子どもの成長 に欠かせないのか (～スポーツ科学の知見から～)	吉見 讓 教授
2	A	「イヤイヤ期」の正体を知れば、育児 はもっと面白い！～子どもの「やる気」 を引き出すコミュニケーション術～	福田 美紀 准教授	28	B	みんなでバスケットボール (元プロ バスケット選手がバスケットを指導する)	小野寺 恵介 講師
3	A	インドにおける教育の現状と課題	渡辺 雅幸 准教授	29	BG	いきいき健康運動 (軽運動で心と 体をリフレッシュ)	竹内 早耶香 講師
4	A	絵本から読み解く異文化理解	白銀 研五 准教授	30	BG	運動とメンタルヘルス (ストレスマ ネジメントにつなげるには?)	竹内 早耶香 講師
5	A	絵本の世界を楽しもう (絵本から見 える子どもの世界)	川副 知佐 講師	31	BG	自宅で出来る健康体操 万が一に 備えて	高木 俊 教授
6	A	親子運動遊び (子どものからだどこ ころへ“つながる遊び”)	奥田 愛子 教授	32	BG	スポーツ栄養学 スポーツ競技者に 対する食事の整え方と注意点	高木 俊 教授
7	A	折り紙の歴史 子どもと一緒に作る 楽しさ	三上 佳子 准教授	33	C	介護技術の基礎 (負担の少ない移 乗・移動方法)	吉原 真紀 講師
8	A	子どもの自信を育てる	箱家 勝規 教授	34	C	介護技術の基礎 (ベッド上での シーツ交換・寝衣交換)	吉原 真紀 講師
9	A	子どもアスリートのメンタルケア	奥田 愛子 教授	35	C	介護過程におけるアセスメント (介護過程の基本的な考え方やアセ スメントのポイントについて)	山ノ井 勉 講師
10	A	障害のある子どもをもつ親の力(ペト ナムにおけるフィールドワークをつうじ て)	白銀 研五 准教授	36	C	介護福祉士の専門性について (介 護福祉職のコミュニケーションとは)	山ノ井 勉 講師
11	A	多文化共生と教育	渡辺 雅幸 准教授	37	C	コミュニケーションゲーム	片山 弘紀 教授
12	A	事例検討をみんなで楽しく! (PC AGIP法を使った事例検討の体験)	南 雅則 教授	38	C	コミュニケーションゲームを通じて対 人援助のセンスを学ぶ	片山 弘紀 教授
13	A	体育指導が苦手な小学校の先生を 対象とした器械運動教室	深田 直宏 教授	39	C	知的障害や発達障害のある人への 読書支援	藤澤 和子 教授
14	A	体育指導が苦手な小学校の先生を 対象としたボール運動教室	深田 直宏 教授	40	C	わかりやすい情報提供 (リライトや 読み聞かせの実習を通して)	藤澤 和子 教授
15	A	対人関係を学ぶ (エンカウンターで 自己や他者の理解を広げよう!)	南 雅則 教授	41	D	<紙工作> 楽しい螺旋(らせん) ロード	和田 健一 准教授
16	A	乳幼児の手作りおもちゃを作ろう	三上 佳子 准教授	42	D	体を使って楽しく歌おう!! (腹式呼 吸って何?)	林 育子 准教授
17	AC	地域子育て相談機関について	榎本 祐子 准教授	43	D	ここにしか咲かない花 ～水彩絵の具やおり紙を使って不 思議な花を咲かせましょう～	和田 健一 准教授
18	AC I	信頼関係を築く『聴く技術』 ～相手の本音に寄り添い、やる気を引 き出すカウンセリングマインドとは～	福田 美紀 准教授	44	D	もっと上手に歌ってみたい (歌って いいんだよ、もっと発散しよう!!)	林 育子 准教授
19	AD G	こころとからだの話(性=心+生)	内藤 紀代子 教授	45	E	和歌でつながる (一本居宣長を事 例として)	榎本 恵理 教授
20	AD G	楽しい音楽療法と音楽リクリエーシ ョン(幼児、児童、学生、高齢者、障 がいがあるすべての方に)	竹下 則子 准教授	46	F	簡単なお知らせ文をパソコンで作ろ う!	長嶺 共全 教授
21	AD G	みんなで歌おう! 心のうた	竹下 則子 准教授	47	G	簡単ストレッチと自体重のトレーニン グ(運動不足解消でストレス解消!)	小野寺 恵介 講師
22	AE	学びのふるさとを寺子屋にたずねて (基礎編)	和田 充弘 准教授	48	G	知っておこう! みんなができる応急 手当	内藤 紀代子 教授
23	AE	学びのふるさとを寺子屋にたずねて (応用編)	和田 充弘 准教授	49	G	高齢者に多い病気とその対策 (ま だまだこれから!)	新屋 久幸 教授
24	AF	だれもが夢中になれる大人の科学 実験	箱家 勝規 教授	50	G	メンタル不調への対応 (こころの病 気への気づきと対応)	新屋 久幸 教授
25	AG	子どもの健康問題、どう解決?	住吉 由加 講師	51	H	地域における自然災害への取り組み (いまの備えは、それで十分ですか?)	烏野 猛 教授
26	B	スポーツ・パフォーマンスの向上に 役立つストレッチ	吉見 讓 教授	52	I	クレームや苦情への対応 (カスタ マー・ハラスメントを含め)	烏野 猛 教授

令和8(2026)年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

No. 1	タイトル	遊びが学びへとつながる保育の質 ～ワクワク・ドキドキ遊び体験～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	中井 清津子	A	その他	指定 なし	○
	内容	幼児の遊びは学びであることから、学びの質を考えます。 さらには、日常的な遊びの中で培われる学びを意識した環境や教材研究を考えます。				
備考	必要に応じて材料を各自持参してください。					
No. 2	タイトル	「イヤイヤ期」の正体を知れば、育児はもっと面白い！～ ～子どもの「やる気」を引き出すコミュニケーション術～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	福田 美紀	A	体験型 講義型	指定 なし	○
	内容	幼児の発達と脳の構造という科学的な視点からイヤイヤ期の意味を紐解き、イライラを「なるほど！」に変える理論を解説します。後半のワークショップでは、家庭や園ですぐに実践できる具体的な関わり方を、参加者の皆さんと共に考えます。				
備考						
No. 3	タイトル	インドにおける教育の現状と課題	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	渡辺 雅幸	A	講義型	指定なし	○
	内容	インドにおける教育の現状と課題について、日本とも比較しながらお話しさせていただき、教育のあり方についてみなさんと一緒に考えます。				
備考						
No. 4	タイトル	絵本から読み解く異文化理解	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	白銀 研五	A	講義型	指定なし	○
	内容	絵本は国境を越えます。原版の絵本と日本の絵本を比べて、その表現の広がりを感じましょう。また、ベトナムで出版された日本の絵本を事例にして、語感や解釈がどのように変化したのか見ることを通じて、文化を越えて広がる絵本の魅力について考えます。				
備考	使用機材：書画カメラ					
No. 5	タイトル	絵本の世界を楽しもう ～絵本から見える子どもの世界～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	川副 知佐	A	体験型	20人	○
	内容	様々な絵本が出版されていますが、絵本は子どものためだけでなく大人も十分楽しめます。本時は絵本からみえる「子どもの心・成長」を考察していきます。また、参加者が絵本を持ち寄ることで、楽しみ方の幅を広げます。				
備考	使用機材：書画カメラ					
No. 6	タイトル	親子運動遊び ～子どものからだところへ“つながる遊び”～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	奥田 愛子	A	体験型	40人 (20組)	×
	内容	スキンシップをとる親子運動遊びを実施します。				
備考	使用機材：ピンマイク・スピーカー・示範用人形(1) 親子で参加してください。 遊戯室を使用します。					
No. 7	タイトル	折り紙の歴史 子どもと一緒に作る楽しさ	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	三上 佳子	A	講義& 体験型	20人	○
	内容	折り紙の歴史を辿ったり、折り紙の魅力や基本をお伝えしながら、実際に折ったりします。その中で、子どもたちと一緒に作る楽しさにも触れていきたいと思います。				
備考						

No. 8	タイトル	子どもの自信を育てる	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	箱家 勝規	A	体験型	指定なし	○
	内容	保護者や地域教育関係者を対象に、子どもとの関わり方、自信の持てる子どもへの声かけなどについて、事例を交えながらわかりやすく講演します。				
	備考					
No. 9	タイトル	子どものアスリートのメンタルケア	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	奥田 愛子	A	講義型	指定なし	○
	内容	アスリートが振り返る幼児期・児童期の特徴的な歩みの紹介と解説を通して、こころの発達につながる身体活動について考えます。				
	備考	使用機材:マイク・スクリーン(白布・白紙も可)				
No. 10	タイトル	障害のある子どもをもつ親の力 ベトナムにおけるフィールドワークをつうじて	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	白銀 研五	A	講義型	指定 なし	○
	内容	ベトナムでは、障害のある子どもの親がどのような子どもの障害に向き合うのか、協力してどんな活動を展開しているのか。事例を参照しながら、国境さえも越える親の活動について考えます。				
	備考					
No. 11	タイトル	多文化共生と教育	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	渡辺 雅幸	A	講義型	指定なし	○
	内容	外国にルーツを持つ人やその子ども等の増加に伴い、多文化共生に必要な教育とは何かについてみなさんと一緒に考えます。				
	備考					
No. 12	タイトル	事例検討をみんなで楽しく！ ～PCAGIP法を使った事例検討の体験～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	南 雅則	A	体験型	8人 程度	×
	内容	教育現場でよく行われる事例検討を、提案者だけでなく参加者を含めた全員が主体者となって取り組みます。				
	備考	使用備品:ホワイボード又は黒板 教育関係者の方を対象にしています。				
No. 13	タイトル	体育指導が苦手な小学校の先生を対象とした器械運動教室	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	深田 直宏	A	体験型	指定 なし	×
	内容	体育の授業の中でも器械運動は、指導のポイントが難しかったり、補助の仕方が分からなかったりと指導の難しい運動です。器械運動の簡単な技を取りあげ、練習場所の設定の仕方、技のポイント、補助の仕方などを体験します。				
	備考	体育館で実施/受講人数 3人～上限なし				
No. 14	タイトル	体育指導が苦手な小学校の先生を対象としたボール運動教室	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	深田 直宏	A	体験型	指定 なし	×
	内容	小学校体育授業の中でもボール運動は、子どもに人気の領域です。しかし、技能差のある子どもが楽しめるゲームを行おうとすると難しいものです。そこで、全ての子どもたちが楽しめるボール運動のゲームを体験します。				
	備考	体育館で実施/受講人数 6人～上限なし/ボールを使用				

No. 15	タイトル	対人関係を学ぶ ～エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう！～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	南 雅則	A	体験型	4人 以上	×
	内容	構成的グループエンカウンターのエクササイズをととして人間関係作りの具体的なスキルを学びます。				
	備考	広めの会場をお願いします。				
No. 16	タイトル	乳幼児の手作りおもちゃを作ろう	分野	形式	人数	プロジェ クター
	担当	三上 佳子	A	講義& 体験型	20人	○
	内容	乳幼児にとって、興味や発達に応じた手作りおもちゃは、とても魅力です。また手作りおもちゃは、作り手の思いや愛情が込められており、子どもたちとの関係づくりにもなります。今回は、手作りおもちゃをご紹介しますながら、一緒に作っていききたいと思います。				
	備考					
No. 17	タイトル	地域子育て相談機関について	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	榎本 祐子	AC	講義& その他	指定 なし	×
	内容	2024年度からスタートした地域子育て相談機関に求められる役割と、それを円滑に実施していくために必要な要因について整理する。				
	備考					
No. 18	タイトル	信頼関係を築く「聴く技術」 ～相手の本音に寄り添い、やる気を引き出すカウンセリングマインドとは～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	福田 美紀	ACI	体験型 講義型	20人	○
	内容	対人援助やマネジメントの基礎となる「傾聴」の本質を解説します。相手を否定せず、ありのままを受け止める姿勢が、いかにして安心感を生み、自発的な行動(やる気)を引き出すのか。今日から即実践できる、心の距離を縮める「聴き方」と「問いかけ」の技術を、理論と実践を交えて分かりやすく解説します。				
	備考					
No. 19	タイトル	こころとからだの話(性=心+生)	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	内藤 紀代子	ACG	体験型 講義型	指定 なし	○
	内容	現在、「いのちの安全教育」や「包括的性教育」の必要性が指摘されていますが、本授業では、心の健康にも触れた内容となっています。				
	備考					
No. 20	タイトル	楽しい音楽療法と音楽リクリエーション 幼児、児童、学生、高齢者、障がいがあるすべての方に	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	竹下 則子	ADG	体験型	20人	×
	内容	誰でも楽しむことができる音楽療法と音楽リクリエーションを体験しませんか？音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を演奏することによって、元気が出たり、心身が癒されたり、リフレッシュしたりすることができます。				
	備考					
No. 21	タイトル	みんなで歌おう！心のうた	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	竹下 則子	ADG	体験型	20人	×
	内容	音楽には心を癒し潤す力があります。呼吸法、発声法から学ぶことができます。皆さんからのリクエストに応じてピアノ伴奏にあわせて合唱します。				
	備考					

No. 22	タイトル	学びのふるさとを寺子屋にたずねて(基礎編)	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	和田 充弘	AE	講義型	指定 なし	○
	内容	寺子屋教育の基礎知識と東近江市五個荘地域の事例について、小中学生向け地域教材と東近江市近江商人博物館での企画展の図録とを兼ねた資料で説明します。				
	備考	スクリーン、大学で作成した教材を使用します。				
No. 23	タイトル	学びのふるさとを寺子屋にたずねて(応用編)	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	和田 充弘	AE	講義型	指定 なし	○
	内容	寺子屋教育の基礎知識と東近江市五個荘地域の事例について、小中学生向け地域教材と東近江市近江商人博物館での企画展の図録とを兼ねた資料で説明します。				
	備考	スクリーン、大学で作成した教材を使用します。				
No. 24	タイトル	だれもが夢中になれる大人の科学実験	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	箱家 勝規	AF	体験型	20人	×
	内容	身近にある素材を使った科学実験を体験してもらう。誰でも安全に簡単にできる実験を紹介し ます。				
	備考					
No. 25	タイトル	子どもの健康問題、どう解決？ 一緒にマネジメント、解決方法を考えましょう！	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	住吉 由加	AG	演習型	指定 なし	○
	内容	学校・園で課題となっている健康問題(身体的・生活習慣など)への対応について解決策を一緒 に考え、具体的なプランを立てていきます。				
	備考					
No. 26	タイトル	スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	吉見 譲	B	体験型	10人程度	○
	内容	スポーツでは準備体操の一環で行われるストレッチ(柔軟体操)。スポーツにおけるパフォー マンス向上とストレッチの関係を解説しながら、その理論と実践を学びます。				
	備考	体育館など床に座って実施します。そのため、マット等が必要です。				
No. 27	タイトル	なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか (～スポーツ科学の知見から～)	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	吉見 譲	B	講義型	20人	○
	内容	コロナ禍における子どもたちの体力の低下や二極化だけでなく、スポーツの世界では早期専門 化が心配されています。子どもたちを取り巻くスポーツや運動の状況だけでなく、成長にどのよ うな影響を与えるのかを、子育ての視点から解説します。				
	備考					
No. 28	タイトル	みんなでバスケットボール ～元プロバスケット選手がバスケットを指導する～	分野	形式	最大 人数	プロ ジェク
	担当	小野寺 恵介	B	体験型	指定 なし	×
	内容	指導者がいない、どんな練習をしたら良いかわからない、そんなバスケットボールチームや、選 手を全力でサポートします。バスケットの魅力をつかち合いながら、楽しいひと時を過ごしましょ う。内容や、レベルなどは相談に応じます。				
	備考	使用機材・備品:バスケットボールリング、バスケットボール 体育館で実施します。				

No. 29	タイトル	いきいき健康運動 ～軽運動で心と体をリフレッシュ～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	竹内 早耶香	BG	体験型	20～30 人	×
	内容	ストレッチ、ウォーキング、チェアエクササイズ等の軽い運動を通して、ご自身の健康について考えてみませんか？				
	備考	動ける場所で実施します。				
No. 30	タイトル	運動とメンタルヘルス ～ストレスマネジメントにつなげるには？～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	竹内 早耶香	BG	講義型	指定 なし	○
	内容	ストレスの対処法を知ってご自身のストレスマネジメントへ活かしましょう。				
	備考	使用機材：PC、スクリーン				
No. 31	タイトル	自宅で出来る健康体操 万が一に備えて	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	高木 俊	BG	講義& 体験型	指定 なし	○
	内容	特別な器具がなくても実施できて、安全・効果の高い体操を紹介します。災害等で万が一の避難所生活を強いられたときにも、ご自身の健康を守るために実施していただけます				
	備考	その場で出来る程度の体操(軽い運動・ストレッチ)を解説し、実際に体験していただけます。運動ができる服装が必要				
No. 32	タイトル	スポーツ栄養学 スポーツ競技者に対する食事の整え方と注意点	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	高木 俊	BG	講義& 体験型	指定 なし	○
	内容	スポーツ実施者に対する食事の整え方・注意点を簡単に説明します。スポーツ競技者を支える方においても役立てられる内容になると思います。				
	備考	ご自身(もしくは支援対象のスポーツ実施者)の1日分の食事を事前に写真撮影した上で参加していただけます(スマホ可)。/椅子(必ず必要)/ストレッチマット(できれば必要)				
No. 33	タイトル	介護技術の基礎 ～負担の少ない移乗・移動方法～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	吉原 真紀	C	体験型	6人	×
	内容	介護者の腰に負担の少ない移乗・移動方法について学びます。				
	備考	使用機材：ベット、車いす				
No. 34	タイトル	介護技術の基礎 ～ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	吉原 真紀	C	体験型	6人	×
	内容	利用者や介護者にとって、負担の少ない介助方法について学びます。				
	備考	使用機材：ベット、寝衣類一式 びわこ学院大学の介護実習室において実施します。				
No. 35	タイトル	介護過程におけるアセスメント 介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	山ノ井 勉	C	その他	40人 程度	○
	内容	介護過程におけるアセスメントについて基本的なコミュニケーション技術や観察、記録について学びます。				
	備考	使用機材：PC				

No. 36	タイトル	介護福祉士の専門性について ～介護福祉職のコミュニケーションとは～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	山ノ井 勉	C	講義型 その他	40人 程度	○
	内容	介護福祉職に代表される福祉専門職がその専門性を磨くために必要なことや受容・共感と言ったコミュニケーション技術の基礎について学びます。				
	備考	使用機材:PC				

No. 37	タイトル	コミュニケーションゲーム	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	片山 弘紀	C	体験型	20人	×
	内容	頭と体を動かしながら、人と関わるゲームを行います。				
	備考	輪になって立ったり座ったり活動します。広めの部屋を希望します。 使用備品:椅子				

No. 38	タイトル	コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	片山 弘紀	C	体験型	16人	○
	内容	対人援助に必要な、みる、きく、伝えるについて簡単なゲームをしながら学んでいきます。				
	備考	座ったり立ったりと体を動かすため、椅子で広めの円をつくることのできる環境を希望します。使用備品:椅子				

No. 39	タイトル	知的障害や発達障害のある人への読書支援	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	藤澤 和子	C	講義型	30人	○
	内容	読むことが苦手な知的障害や発達障害の人が読書を楽しむ必要な情報を得るためのわかりやすい本やマルチメディアDAISY図書を紹介し、公共図書館が行っている知的障害者への障害者サービスの取り組みについてお話しします。				
	備考	使用機材:PC				

No. 40	タイトル	わかりやすい情報提供 ～リライトや読み聞かせの実習を通して～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	藤澤 和子	C	体験型 講義型	20人	○
	内容	知的障害や発達障害のある人たちにコロナ感染、災害、法律の情報など生活に必要なことをわかりやすく届けるためのリライトや読み聞かせの方法を実習を通して学んでいただきます。				
	備考	使用機材:PC				

No. 41	タイトル	<紙工作> 楽しい螺旋(らせん)ロード	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	和田 健一	D	体験型	15人	×
	内容	カードを開くとグルグルとうねる螺旋ロードを考えます。飛び出すカードっぽく、平面から立体を往還する紙の素材としての面白さを体感しましょう。簡単そうで案外頭の体操になります。				
	備考	造形室など活動しやすい場所を希望します。(はさみ、デザインナイフ、のりなど大学から持ち込みます。)				

No. 42	タイトル	体を使って楽しく歌おう！！ ～腹式呼吸って何？～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	林 育子	D	体験型	30人	○
	内容	発生の仕組みをDVDで学んだ後、実際の体操をしながら声を出し、全員で1曲仕上げます。				
	備考	使用機材:DVDプレイヤー、スクリーン、ピアノまたはキーボード 床に寝ても大丈夫な服装でお願いします。				

No. 43	タイトル	ここにしか咲かない花 ～水彩絵の具やおり紙を使って不思議な花を咲かせましょう～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	和田 健一	D	体験型	15人	×
	内容	水彩絵の具を使って、デカルコマニーの技法を用いながら「ここにしか咲かない」不思議な花をつくります。				
	備考	使用備品:水彩絵の具、画用紙、ハサミなどは大学から持ち込みます。 造形室など活動しやすい場所を希望します。				
No. 44	タイトル	もっと上手に歌ってみたい ～歌っていいんだよ、もっと発散しよう!!～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	林 育子	D	体験型	30人	○
	内容	普段合唱をされていて、お困りのことをお聞きし、より良い表現に近づくお手伝いをいたします。				
	備考	使用機材:ピアノ 動ける服装。指導を希望される楽譜をあらかじめお送りください。				
No. 45	タイトル	和歌でつながる ～本居宣長を事例として～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	榎本 恵理	E	講義型	5～50人	○
	内容	江戸中期、三重松坂で医者としての仕事をする一方で30余年にわたり『古事記』を研究した本居宣長の和歌とのかかわりについてお話しします。彼は18歳から和歌を詠み始め、生涯にわたり約1万首を詠みました。また松坂で周辺の人々と歌会を頻繁に開いていました。彼がなぜそれほどまでに和歌にこだわったかを中心に、人間関係が希薄になっている現代において、地域で人と繋がる意味を考えたいと思います。(60分程度)				
	備考	使用機材:PC、スクリーン				
No. 46	タイトル	簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう！	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	長嶺 共全	F	体験型	3～8人	○
	内容	日本語ワープロ検定試験の”文書作成”の体裁を用いて、簡単なお知らせ文をWordで作ります。				
	備考	使用機材:PC、スクリーン 簡単なローマ字入力ができることが望ましいです。				
No. 47	タイトル	簡単ストレッチと自体重のトレーニング ～運動不足解消でストレス解消！～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	小野寺 恵介	G	体験型	指定なし	×
	内容	一人で行える簡単なストレッチと、トレーニング方法を学びます。健康づくりのための運動を学び、運動不足とストレスを解消しましょう。				
	備考	使用備品:ヨガマット等 運動が出来るスペース及びフロア(体育館・ヨガマット等)を希望します。				
No. 48	タイトル	知っておこう！みんなができる応急手当	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	内藤 紀代子		講義型 体験型		
	内容	よくある病気やケガの初期対応を知っておくと安心です。一般の方をはじめとし、子どもと関わる機会が多い方におすすめの授業です。				
	備考					
No. 49	タイトル	高齢者に多い病気とその対策 ～まだまだこれから！～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	新屋 久幸	G	講義型	相談	○
	内容	高齢者に多くみられる病気と対策、くすりへの注意などをお話しします。				
	備考	使用機材:PC、スクリーン、拡声器 使用備品:配布紙資料を準備します。				

No. 50	タイトル	メンタル不調への対応 ～こころの病気への気づきと対応～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	新屋 久幸	G	講義型	指定なし	○
	内容	メンタル不調への気づきと対応について一緒に考えます。				
	備考	使用機材:PC、スクリーン、拡声器 使用備品:配布紙資料を準備します。				
No. 51	タイトル	地域における自然災害への取り組み ～いまの備えは、それで十分ですか?～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	烏野 猛	H	講義型	指定なし	×
	内容	過去の自然災害を例に、いま地域のなかでどのような防災上の「備え」が必要なのか、について話をします。				
	備考					
No. 52	タイトル	クレームや苦情への対応 ～カスタマー・ハラスメントを含め～	分野	形式	最大 人数	プロジェ クター
	担当	烏野 猛	I	講義型	指定なし	×
	内容	カスタマー・ハラスメントを含め、ストレスが多い昨今、いかにクレームや苦情を少なくし、また発生した場合であってもどう対処すべきか、について話をします。				
	備考					